

Dendeiin TERBISHDAGVA(デンデビーン・テルビシダグワ) モンゴル国食料・農牧業大臣のご視察

平成18年11月24日(金)にDendeiin TERBISHDAGVA(デンデビーン・テルビシダグワ)モンゴル国食料・農牧業大臣が動物衛生研究所を視察された。

外務省はモンゴル閣僚級の要人に対してわが国当該分野の経験・知識を紹介し、わが国に対する理解を深化してもらい、外交活動の円滑な推進を図るため「日本・モンゴルパートナーシップ推進事業」を実施している。今回、テルビシダグワ大臣は、本事業の一環として11月20日～11月27日(7泊8日)の日程で招聘され、農林水産大臣への表敬訪問、外務省、JICAのほか、全国農業協同組合中央会、研究機関、農畜産物加工工場、農場及び市場、大分県の一村一品活動事業等わが国の農業分野を中心に訪問・視察をされており、その一つとして動物衛生研究所を訪問されたものである。

テルビシダグワ大臣にはモンゴル国から大臣補佐官、農牧省政策実施調整局長、農業振興基金理事長、国立家畜衛生中央試験場所長、民間関係者3名、また、外務省からは通訳を兼ね大東担当官が同行された。動物衛生研究所からは、谷口所長、村上企画管理部長、成田研究管理監、山口研究管理監、八木研究管理監、毛利プリオン病研究センター長、志村動物疾病対策センター長、代田審議役、岩村研究調整役、松原業務推進室長、梅村管理課長が対応した。

テルビシダグワ大臣到着後、大会議室において谷口所長が動物衛生研究所を代表して歓迎の挨拶を申し上げ、続いてテルビシダグワ大臣からご挨拶をいただいた。その後、村上企画管理部長が動物衛生研究所の沿革、組織、研究の概要を紹介した。それに続いて、動物衛生高度研究施設に場所を移し、毛利プリオン病研究センター長からパネルおよびモニターを用いてプリオン病研究の概要及び同施設の概要について説明を行った。また、同施設中央管理室に入って監視モニターにより同施設各室の様子を観察

いただいた。

短時間のご訪問ではあったが、テルビシダグワ大臣をはじめ同行されたモンゴル国関係者から説明の都度、種々のご質問があった。視察終了後にはテルビシダグワ大臣から訪問対応に対する感謝の言葉をいただいた。

訪日日程の終了の際、「行政や立法の関係者のみならず、農業の専門家の話を直接聞き、最新の施設をこの目で見ることができ、たいへん有意義な訪問をすることができた」とテルビシダグワ大臣の感想が外務省から伝えられた。

最後に、当日対応した関係者をはじめ、訪問準備及び対応調整にご協力いただいた職員の皆様に感謝申し上げます。

(研究調整役・業務推進室)



写真 右から2番目 Dendeiin TERBISHDAGVA モンゴル国食料・農牧業大臣